

「関西のインフラ強化を進める会」開催報告

(一社)近畿建設協会

近畿建設協会では、公益事業の一環として第3回委員会「関西のインフラ強化を進める会」を12月12日に開催しました。今回は、阪急阪神ホールディングス 代表取締役会長 角和夫氏により基調説明として「関西における交通ネットワーク整備とこれからの拠点整備について」のほか、「京阪神地域のまちづくり」をテーマに各委員より活発な意見交換がありました。



角氏



意見交換会

【基調説明の主な内容】

- 阪急に入社し40数年、現在みたいに元気になったことはない。
- 空港(来年には3空港一体運営の予定)だけでなく、鉄道・道路も明るい形になってきている。
- リニアの新大阪駅を早く決め、設計とまちづくりをする。
- 北陸新幹線は関西をあげて官民協力して、国に対して新しいスキームを要請していく。
- 空港アクセスの鉄道の相互乗り入れについては、各社ケージなどが異なるが新たな車両を作れば問題はない。
- 新名神が一部区間開通し、ストック効果が大きいことの証明になる。
- 神戸の三ノ宮は、阪急を地下化すれば広大な駅前広場、道路拡幅ができる。
- 神戸空港の24時間機能を活かせばプライベートジェット機、貨物(高級くだもの)に活用できる。
- 夢洲の万博については、現在、24万人の署名、今後30万人を目指す。
- 国際的な文化機能、伝統文化、文化の歴史を知ってもらうことはマストである。

【主な意見】

- 池田委員 今の関西の状況を再三再四発信し、大阪に来れば元気になるといった情報発信作りが必要。
- 小河委員 空港、道路はよくなった。残りは港湾である。(物流のコストダウン、地下鉄の民営化のタイミングに港湾もマネジメントすればインパクトがある。)
- 藤本委員 瀬戸内海は世界のリゾート地がある。IRも万博も西のリーダーとして一緒に育てていく。
- 斎藤委員 北梅田→関空間33~34分と高い目標を作ったので、実現してもらいたい。また、オープンアクセスについて考えること。
- 佐藤委員 3000万人の集客数について、どういうやり方で検討するのか。
- 上村委員 民間の知恵と力と資金力を寄せ集め、前へ発展させるため、声を大きくすること。
- 鹿間委員 万博を成功させるには、みんなを巻き込みメディアをいれて情報発信することが大事。
- 神田委員 これからが勝負のとき。みんなに気にかけてもらい広げていく。
- 小林委員長 重要なことは、ザックリした数字(キャパ、不足量等)を出すこと。また、ロードマップをつくり、後発者の利として、遅れる分、最先端のものを造る。来年、タイに乗り込んで直接タイの旅行社とタイアップの予定。関西の観光を考える場合、ハラール対応がいいケースになる。

委員名簿

| | | |
|-------|-------|-------------------------|
| (委員長) | 小林潔司 | 京都大学経営管理大学院 教授 |
| | 池田豊人 | 近畿地方整備局長 |
| | 井戸智樹 | 歴史街道推進協議会 ネットワーク推進部長 |
| | 上村多恵子 | 京南倉庫(株)社長 |
| | 岡本博 | 阪神高速道路(株)常務執行役員 |
| | 小河保之 | (株)URリネージ 参与 |
| | 長田信 | 近畿地方整備局副局長 |
| | 神田彰 | 関西経済連合会 理事 |
| | 斎藤峻彦 | 近畿大学 名誉教授 |
| | 佐藤道彦 | JR西日本 創造本部 アドバイザー |
| | 鹿間孝一 | 産経新聞 論説委員 |
| | 清水喜代志 | JR西日本 建設工事部 技術顧問 |
| | 正司健一 | 神戸大学 教授 |
| | 竹内廣行 | 大阪府 副知事 |
| | 多田穂子 | 田辺市熊野ツーリズムビューロー会長 |
| | 中塚則男 | 関西広域連合 事務局長 |
| | 若林陽介 | 前近畿運輸局長 |
| | 藤本貴也 | JAPIC国土・未来プロジェクト研究会 委員長 |
| (事務局) | 霜上民生 | 近畿建設協会 理事長 |
| (事務局) | 兼塚卓也 | 建設コンサルタンツ協会 近畿支部長 |

第4回委員会「関西のインフラ強化を進めるために」

日時：平成30年4月17日(火) 17:00～ 場所：大阪キャッスルホテル